



つじどう小だより

2026年6月5日

藤沢市立辻堂小学校

校長 納富 崇典

一体感を感じた体育大会 ～第56回藤沢市小・特別支援学校体育大会～

5月20日、6年生は「第56回藤沢市小・特別支援学校体育大会」に出場しました。開会式では、本校6年生の佐藤璃歩さんが児童代表の言葉を述べました。「感謝の気持ちを忘れず、仲間を信じて、みんなで築いた力を出し切りたい」という力強いメッセージは、開会式の素晴らしい雰囲気を作りました。大会では、個人種目と団体種目に参加しました。リレーでは練習してきた「減速の少ないスムーズなバトンパス」の技能を発揮し、辻堂小の大声援のなかスタンド前のストレートを全力で駆け抜ける頼もしい姿が見られました。天候にも恵まれ、広い競技場で全力を出し切る姿は大変輝いていました。後日、国語の学習で校長室へインタビュー



ーに来た6年生に、体育大会で学んだことを尋ねてみました。すると、「練習を重ねて技能が身につけて嬉しかった」、「当日、一体感を持って応援する喜びを感じた」と生き生きと語ってくれました。仲間と心をつなげたこの経験は、最高学年としての大きな成長につながると思います。

第1回学校運営協議会

本校は、今年から学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）がはじまりました。学校運営に地域住民や保護者が参画して学校と地域が協働して子どもを育てることを目指すこととなります。第1回の学校運営協議会はメンバーの自己紹介と、校長の学校運営方針についての説明を行いました。今後は、「教育課程に地域の皆様がどのように参画していくか」ということや、「子ども達の歩んでいく、予測困難な未来を考えた時、辻堂の子ども達はどんな資質や能力を身につけるべきか」など、重要なテーマについて、話し合いを深めてまいります。



現在、すでに水泳学習や学区めぐり、交通安全教育などの授業において、多くの保護者の皆様にサポートしていただいております。その活動を通じて子ども達の学習の過程を間近で見いただいております。今後は、学習のねらいを伝えながら、目的ある学習の中で、ねらいにそった学びになっているか等見ていただきたいと思います。

学校運営協議会委員の皆様：植木菊治(学識経験者)和泉清勝(湘平会会長)川延喜代二(地域住民)松尾良子(主任児童委員)重田和恵(生活環境協議会副会長)妹尾寛子(辻堂小PTA)兼田英明(辻堂小PTA)五十嵐真瑚(卒業生 教職志望大学生)増淵典勝(辻堂市民センター主幹)麦島翔太(辻堂小コミスク担当)納富崇典(校長)